

どこまでいくんだらう？

水遊びや泥遊びが大好きな子どもたちです。
水がジョウロから流れていく様子を見たり、砂場のくぼみに溜まっている水を触ったりしていました。



園庭で水あそびをしていると、水が砂場の方に流れているのに気づいた子どもたちは、水の流れをたどっていき、「どこまでいくんだらう？」と言っていました。

水が溜まっているところを保育士がスコップで少し掘ると水が流れ、それを見て「ぼくもする。」とスコップを持って来て、掘り始めました。



こっちにも
やって（ほって）
みよう！

こっちにも
みずたまりが
できるかな？



次の日も砂場に水を持ってきて遊び始め、掘っても水が流れないと「なんでかな？」と言っていました。この日はもっと深く掘ったり、掘ったところに水を入れたりして遊んでいました。



毎日、遊びが続きました。砂をスコップで掘り、「ここにたくさんいれたら、できるよ。」と水を入れていました。水が溜まってくると、スコップで道をつくり、水が流れていくことに気づいたようでした。

- 自然に関わって遊ぶ（自然との関わり、生命尊重）
- 自然事象に心を動かし繰り返し関わる（思考力の芽生え）